

作成日 2022/06/21  
改訂日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 製品名   | 便座除菌クリーナー                      |
| 会社名   | 株式会社MonotaRO                   |
| 所在地   | 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階 |
| 担当者名  | 商品お問合せ窓口                       |
| 電話番号  | 0120-443-509                   |
| FAX番号 | 0120-289-888                   |
| 緊急連絡先 | 所在地と同じ                         |
| 整理番号  | M220907                        |

### 2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

|          |                                                                                                                                                                                |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 区分3                                                                                                                                                                      |
| 健康有害性    | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2B<br>発がん性 区分1A<br>生殖毒性 区分1A<br>特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用 気道刺激性)<br>特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓)<br>特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(中枢神経系)<br>上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。 |

### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
H226 引火性液体及び蒸気  
H320 眼刺激  
H335 呼吸器への刺激のおそれ  
H336 眠気又はめまいのおそれ  
H350 発がんのおそれ  
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

#### 注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)  
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)  
容器を密閉しておくこと。(P233)  
容器を接地しアースをとること。(P240)  
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)  
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)  
静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)

|      |                                                                                     |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 応急措置 | 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)                                                                |
|      | 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)                                                                |
|      | この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)                                                    |
|      | 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)                                                         |
| 保管   | 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)                                                     |
|      | 皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)                    |
|      | 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)                                    |
|      | 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) |
| 廃棄   | ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)                                       |
|      | 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)                                                     |
|      | 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)                                              |
|      | 火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)                                             |
| 保管   | 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)                                              |
|      | 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)                                              |
| 廃棄   | 施錠して保管すること。(P405)                                                                   |
|      | 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)                                      |

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

| 化学名又は一般名    | 濃度又は濃度範囲 | 混合物<br>化学式                                   | 官報公示整理番号 |     | CAS番号      |
|-------------|----------|----------------------------------------------|----------|-----|------------|
|             |          |                                              | 化審法      | 安衛法 |            |
| エタノール       | 35～45%   | CH <sub>3</sub> CH <sub>2</sub> OH           | (2)-202  | 既存  | 64-17-5    |
| クエン酸        | 1～5%     | C <sub>6</sub> H <sub>8</sub> O <sub>7</sub> | (2)-1318 | 既存  | 77-92-9    |
| クエン酸三ナトリウム  | 1%未満     | 不明                                           | 不明       | 不明  | 68-04-2    |
| グレープフルーツエキス | 1%未満     | 不明                                           | 不明       | 不明  | 90045-43-5 |
| さとうきび抽出物    | 1%未満     | 不明                                           | 不明       | 不明  | 不明         |
| 水           | 残量       | 不明                                           | 不明       | 不明  | 7732-18-5  |

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。ひどい場合は、直ちに医師の手当を受ける。

## 皮膚に付着した場合

流水で洗い流す。

## 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

## 飲み込んだ場合

すぐにコップ1～2杯の牛乳または水を飲ませ、誤飲したものを薄めたり食道や粘膜を保護する。無理に吐かせてはいけない。嘔吐や下痢症状が激しかったり様子がおかしい場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置  
適切な消火剤

霧状水、粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤  
火災時の特有の危険有害性

情報なし  
情報なし

特有の消火方法  
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業は可能な限り風上から行う。  
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出時の処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。  
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意  
取扱い

技術的対策

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
取扱については、火気のない換気のよい場所で行う。  
みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに近接させ、若しくは注ぎ蒸発させ、又は加熱しないこと。取り扱う場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの、又は酸化性のものを置かないこと。

安全取扱注意事項

保管

安全な保管条件

保管は通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。また、火気その他危険な場所から遠ざけ通風をよくし、温度、湿度、遮光に注意し、密栓して、冷暗所に保管する。  
消防法の第1類及び第6類の危険物との混合貯蔵は禁止。また、非危険物との混合貯蔵については、原則禁止であるが、例外として危険物以外の可燃性個体類または可燃性液体類とを貯蔵する場合は、それぞれをとりまとめて貯蔵し、かつ相互に1m以上の間隔を置く場合には、貯蔵することができる。  
幼児の手の届かないところに保管する。

安全な容器包装材料 専用の容器以外は使用しない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

|       | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会) | 許容濃度(ACGIH)          |
|-------|------|------------|----------------------|
| エタノール | 未設定  | 未設定        | TWA -, STEL 1000 ppm |
| クエン酸  | 未設定  | 未設定        | 未設定                  |
| 水     | 未設定  | 未設定        | 未設定                  |

|             |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|
| グレープフルーツエキス | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
|-------------|-----|-----|-----|

## 設備対策

取扱い場所の近くに水洗、洗顔設備を設ける。  
取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行

## 保護具

呼吸用保護具  
手の保護具  
眼、顔面の保護具  
皮膚及び身体の保護

必要に応じてマスクなどを着用  
保護手袋  
保護メガネ  
保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

|                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 物理状態                    | 液体                           |
| 形状                      | 液体                           |
| 色                       | 無色透明                         |
| 臭い                      | アルコール臭                       |
| 融点／凝固点                  | データなし                        |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲           | データなし                        |
| 可燃性                     | データなし                        |
| 爆発下限界及び爆発上限<br>下限界／可燃限界 | 19.0Vol%(エタノール分100%として)(空气中) |
| 上限                      | 19.0Vol%(エタノール分100%として)      |
| 引火点                     | 28.5℃(密閉式)                   |
| 自然発火点                   | データなし                        |
| 分解温度                    | データなし                        |
| pH                      | 3.2                          |
| 動粘性率                    | データなし                        |
| 溶解度                     | 水に良                          |
| n-オクタノール／水分配係数          | データなし                        |
| 蒸気圧                     | データなし                        |
| 密度及び／又は相対密度             | 0.94(15℃)                    |
| 相対ガス密度                  | データなし                        |
| 粒子特性                    | データなし                        |

## 10. 安定性及び反応性

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 反応性        | 通常条件で安定。                         |
| 化学的安定性     | 通常条件で安定。                         |
| 危険有害反応可能性  | 情報なし                             |
| 避けるべき条件    | 熱、高温のもの、火花等の着火源の付近、高温下での保管、開放状態。 |
| 混触危険物質     | 情報なし                             |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし                             |

## 11. 有害性情報

|      |    |                                                  |
|------|----|--------------------------------------------------|
| 急性毒性 | 経口 | 急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。                |
|      | 経皮 | 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 |
|      | 吸入 | 急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。                |
|      |    | 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 |
|      |    | (気体)                                             |
|      |    | GHS定義による気体ではない。                                  |
|      |    | (蒸気)                                             |
|      |    | 急性毒性推定値が50000ppm超のため区分に該当しないとした。                 |

|                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 皮膚腐食性／皮膚刺激性                                                                      | <p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。<br/>(粉じん・ミスト)<br/>データ不足のため分類できない。<br/>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。<br/>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。<br/>眼区分2Bの成分合計が45%のため、区分2Bとした。</p>                             |                                                                       |
| <p>眼に対する重篤な損傷性<br/>／眼刺激性<br/>呼吸器感作性<br/>皮膚感作性<br/>生殖細胞変異原性<br/>発がん性<br/>生殖毒性</p> | <p>データ不足のため分類できない。<br/>データ不足のため分類できない。<br/>データ不足のため分類できない。<br/>区分1Aの成分が45%のため、区分1Aとした。<br/>(生殖毒性)<br/>区分1Aの成分が45%のため、区分1Aとした。<br/>(生殖毒性・授乳影響)<br/>データ不足のため分類できない。<br/>区分3(麻酔作用)の成分合計が45%のため、区分3(麻酔作用)とした。<br/>区分3(気道刺激性)の成分合計が45%のため、区分3(気道刺激性)とした。</p> |                                                                       |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露)                                                                  | 区分1(肝臓)の成分が45%のため、区分1(肝臓)とした。                                                                                                                                                                                                                           |                                                                       |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露)                                                                  | 区分2(中枢神経系)の成分が45%のため、区分2(中枢神経系)とした。                                                                                                                                                                                                                     |                                                                       |
| 誤えん有害性                                                                           | 動粘性率が不明のため、分類できないとした。                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                       |
| 12. 環境影響情報<br>水生環境有害性 短期<br>(急性)                                                 | <p>(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。<br/>毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>                                                                                                                                                     |                                                                       |
| 水生環境有害性 長期<br>(慢性)                                                               | <p>(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。<br/>毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>                                                                                                                                                     |                                                                       |
| <p>生態毒性<br/>残留性・分解性<br/>生体蓄積性<br/>土壤中の移動性<br/>オゾン層への有害性</p>                      | <p>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データ不足のため分類できない。</p>                                                                                                                                                                                          |                                                                       |
| 13. 廃棄上の注意<br>残余廃棄物                                                              | <p>水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。<br/>または、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。</p>                                                                                                                                                                                         |                                                                       |
| 14. 輸送上の注意<br>国際規制                                                               | <p>海上規制情報<br/>UN No.<br/>Proper Shipping<br/>Class<br/>Packing Group<br/>Marine Pollutant</p>                                                                                                                                                           | <p>IMOの規定に従う。<br/>1170<br/>エタノール<br/>3<br/>III<br/>Not applicable</p> |

|             |                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                       |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | Liquid Substance<br>Transported in Bulk<br>According to<br>MARPOL 73/78,<br>Annex II, the IBC<br>Code                                                                                                                   | Not applicable                                                                                                                                                        |
| 国内規制        | 航空規制情報<br>UN No.<br>Proper Shipping<br>Class<br>Packing Group<br>陸上規制<br>海上規制情報<br>国連番号<br>品名<br>クラス<br>容器等級<br>海洋汚染物質<br>MARPOL 73/78 附<br>属書II 及びIBC コー<br>ドによるばら積み輸<br>送される液体物質<br>航空規制情報<br>国連番号<br>品名<br>クラス<br>等級 | ICAO/IATAの規定に従う。<br>1170<br>エタノール<br>3<br>III<br>消防法の規定に従う。<br>船舶安全法の規定に従う。<br>1170<br>エタノール<br>3<br>III<br>非該当<br>非該当<br><br>航空法の規定に従う。<br>1170<br>エタノール<br>3<br>III |
| 緊急時応急措置指針番号 |                                                                                                                                                                                                                         | 127                                                                                                                                                                   |

#### 15. 適用法令 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条  
第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)  
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条  
の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

毒物及び劇物取締法  
化学物質排出把握管理促  
進法(PRTR法)  
消防法  
大気汚染防止法

エタノール(政令番号:61)(40%-50%)  
非該当  
非該当

海洋汚染防止法

第4類 引火性液体 アルコール類(水溶性)  
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都  
道府県への通達)

外国為替及び外国貿易法  
船舶安全法  
航空法

油性混合物(施行規則第2条の2)  
有害でない物質(施行令別表第1の2)  
有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表  
第1第1号イ(81))  
有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)  
輸出貿易管理令別表第1の16の項  
引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)  
引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第  
1)

港則法

その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、  
規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)

特定有害廃棄物輸出入規  
制法(バーゼル法)  
化学兵器禁止法

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30  
年6月18日省令第12号)  
有機化学物質(法第29条1、施行令第4条1)

#### 16. その他の情報

参考文献

製造元メーカー提供資料  
NITE GHS分類結果一覧  
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報  
の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス  
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム  
「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、  
取扱いには十分注意して下さい。